商品利用を通して地域社会づくりを推進

おかやまコープ。くらしをつくる Vol.18

食料自給率向上に貢献

おかやまコープは、地域経済の発展はもとより、地域社会づくりにつながる商品づくりや商品の利用に力を入れています。その一つが「飼料用米」の活用です。文字通り、家畜のエサ利用を目的に栽培されているお米を使うことで循環型農業を応援し、地産地消や食料自給率の向上、地域の活性化につなげる活動です。取り組みとその意義を紹介します。

日本の農業を取り巻く環境は厳しく、米作りは後継者不足や消費の減少、価格低落など多くの悩みを抱えています。耕作放棄地が増え、生産者と消費者の“距離”も遠くなりつつあります。一方、世界に目を向けると、人口増加や天候不順で食料が不足し、食料の争奪戦が起きると懸念されています。食料の6割を輸入に頼る日本にとって、食料自給率の向上は待ったなしの課題です。

このような状況を受け、おかやまコープは他の流通業者に先駆けて、6年前から飼料用米の活用に取り組み、県産産直商品（牛・豚・若鶏・たまご）の飼料に飼料用米を配合しています。国も飼料用米の推進を加速し、全国的にも飼料用米の作付面積が増加傾向にあります。

県産の約7割確保

おかやまコープが、飼料用米を初めて活用したのは2010年度。産直商品「コープおかやま豚」の専用飼料「コープスター」と、「コープ産直こめたまご」の専用飼料「愛産マッシュ」に配合し、県内の提携農場への提供をスタートしました。現在では下の表にあるように4種類の産直商品の飼料に配合するまでに至っています。中でも、「コープおかやま豚」の飼料に使う飼料用米は今年5月から配合率を20%から50%に引き上げたことで9・7㌧に増え、飼料に使う輸入トウモロコシの約83%を米に置き換えることができました。

飼料用米の活用を始めた2010年度に81㌧からスタートした飼料用米の確保量は、本年度産の飼料用米では計4700㌧に増え、このうち県産は3500㌧（県産全体の約7割）を確保する予定です。

（飼料用米を使った専用飼料の一例）

★飼料用米の活用状況（概算）

JA全農おかやま調べ・2017年度は予定

おかやまコープ産直商品へ 飼料用米を活用

★飼料用米を活用すると――

◎地産地消が進み、食料自給率が上昇

・日本の食料自給率が39%（カロリーベース）と低迷する中、家畜のエサとして米を活用することは地産地消、食料自給率の向上に貢献します。

◎耕畜連携の循環型農業を推進

・地域で耕種農家から米（エサ）、畜産農家から堆肥を供給しあう耕畜連携は、環境にやさしい農業を進め、地域農業・経済の活性化につながります。

◎水田の利活用を推進

・水田の荒廃を防ぎ、豊かな里山と生物の多様性を維持するとともに、耕作面積を維持することにつながります。

★循環型農業

地産地消、循環型農業を応援

◎商品別活用状況

飼料用米は下記の飼料に配合されています。

- 「コープおかやま豚」50%
- 「コープおかやま牛」10%
- 「コープおかやま若鶏」10%
- 「コープ産直こめたまご」20%

飼料用米の取り組みに期待

農林水産省
中国四国農政局
生産部 生産振興課長
石橋 章広 氏

主食用米の需要については、高齢化、人口減少等により毎年8万㌧の減少が見込まれる中で、農林水産省では、需要に応じた生産を推進するとともに、優れた生産装置である水田をフル活用し、食料自給率・食料自給力の向上を図るため、主食用米に代わり飼料用米等の生産拡大を推進しているところです。

このような中、飼料用米を活用した畜産物の付加価値が上がり、また、飼料用米利用について、消費者の方々の理解が進んでいくことは非常に重要なことだと認識しております。おかやまコープのさらなる取り組みに、今後とも期待しております。

産直商品「コープおかやま豚」生産者を訪ねて

岡山JA畜産（株）美星農場（井原市美星町）

生産者と消費者をつなぐ

「コープおかやま豚」は、飼料用米をいち早く利用したおかやまコープの産直商品。提携農場の岡山JA畜産（株）美星農場が年間7千頭を同コープ向けに出荷しています。徹底した飼育管理と衛生管理を行い、安全・安心でおいしい豚肉の出荷に励む同農場を訪ねました。

「星の郷」といわれる井原市美星町。澄んだ空気と緑に囲まれた山間に、同農場の豚舎が広がっています。藤澤弘進場長ら8人が交配から分娩、子豚の世話、出荷までを分担。子豚は生後6カ月、体重100～115㌔ぐらいに育つと出荷されます。

豚は暑さなどのストレスに弱いため、豚舎は特にこまめな温度管理が必要。交配・分娩舎の小林香奈さんらは「生まれたての子豚ははっきりと元気がなく、小さな病気も命にかかわるので気が抜けません」と一頭一頭の様子に目を配っていました。スタッフは毎日、数千頭いる豚舎の掃除やエサやりなど重労働ですが、藤澤場長は「豚は手間と愛情を掛ければ掛けるほどすくすくと健康に育つんですよ」と、笑顔にやりがいがにじみます。

母豚と子豚の一頭一頭の様子を観察し、愛情こめて世話をする藤澤場長（右）と小林さん

飼料用米50%配合

手間と愛情に加え、「コープおかやま豚」の肉の品質を向上させているのが、飼料用米を配合した同コープのオリジナル飼料・コープスターです。岡山JA畜産の石原正敬代表取締役が「植物性の原料しか使わず、整腸作用のある竹酢（竹の抽出液）を加えているので肉の臭みを抑えられ、あっさりしたおいしさになります」とこだわりの飼料の効果を教えてくれました。

また、飼料用米導入以前は飼料の約60%がNON-GMO・PHFコーン（非遺伝子組み換え・収穫後農薬不使用のトウモロコシ）でしたが、今年から飼料用米の配合50%化で同コーンの配合が約10%に減少。輸入トウモロコシを大幅に飼料用米に置き換えたことにより、食料自給率の向上に貢献しています。

消費者の声が励み

おかやまコープが産直商品を通して生産者と消費者をつなぐ懸け橋となってきたことについて、石原代表取締役は「私たちが責任をもって作ったものを食べてくれる人の顔が見え、評価してもらえるのは非常に励みになる。組合員さんが買い支えてくださるおかげで、生産者は安心して家畜を飼い、もっとおいしいお肉を作ろうと打ち込めるんです」。さらに「養豚生産者として食料自給率の向上、耕畜連携の運動の一翼を担っていきたい」と話しています。

顔が見える安心感

おかやまコープ組合員
久保田亜紀 さん親子

おかやまコープの産直商品は、生産者の顔が見える安全・安心な産直商品なので、家族みんなで食べられます。これからも、しっかり利用して、生産者の皆さんを応援していきたいと思います。

地域社会づくりを応援する「おかやま育ち」商品

おかやまコープでは、「生産者と生産地」「栽培・肥育方法」が明確で、組合員と生産者が交流できる商品を“産直”と位置づけています。その中でも「おかやま育ち」商品は、岡山県産農水産産物と、主原料に岡山県産農水産産物を使った加工品です。消費者にとっては作り手の顔が見えるのでより安心して利用でき、産地の活性化につながります。

（商品の一部）

おかやまコープと岡山県包括連携協定を締結

地産地消の推進や見守り

おかやまコープは今年7月、岡山県と地産地消の推進や安全・安心の確保などに取り組む包括連携協定を結びました。お互いの資源を有効活用し、地域の活性化や県民サービスの向上を図るのが目的です。生活協同組合と都道府県の包括連携協定は全国で6例目、中四国では初となります。

連携内容は地産地消の推進、地域の安全・安心、高齢者および障害者の支援、子育て支援、環境保全、災害対策など8項目です。

▲おかやまコープと岡山県が地産地消を応援していることを、宅配車400台にステッカーを貼ってPRしています

岡山県内24自治体と協定を締結

おかやまコープでは、協力し合って地域の抱える問題解決をすすめるため、岡山県内の28自治体中、24自治体（岡山県と23市町村）と災害時物資協定や見守り活動協定、包括連携協定を締結しています。（2016年9月現在）

企画・制作／山陽新聞社広告本部

入場無料

コープフェスタ2016

～おかやま食育推進協賛事業～

日時　9月24日（土）10:00～14:30

場所　コンベックス岡山［大展示場・中展示場］
岡山市北区大内田675

来場者と組合員さん・職員・メーカーが交流できる食を中心としたイベントです。
「地産池消」「産直」「食育」などをテーマに商品学習や試食を行います。

マイバッグをご持参ください！

臨時駐車場送迎有り

無料駐車場1,400台完備

コーすけが来るよ！

©2012CO・OP共済コーすけ

大展示場

- おかやま育ち・産直商品の紹介と試食販売
- もちつき（新庄村 ひめのもち）
- 健康チェックコーナー（医療生協）
- C*コレ総選挙投票所
- 「美の国」C*コレ化粧品コーナー
- 東日本大震災復興応援コーナー
- 国際協力支援コーナー（ユニセフ、AMDA）など

職員有志による軽食の販売もある♨！

環境や消費者問題、国際協力支援などの取り組みを紹介します

中展示場

- 環境コーナー
- お魚クイズ
- リサイクルえんぴつ作り
- 子どもコーナー
- お絵かき
- フワフワ（1回100円）
- 岡山県森林組合コーナー
- 木のジャングルジム
- 木工教室（材料代実費500円）
- 木のプール　など

約130社が参加、お買い得商品が満載！

ゆるキャラの写真撮影もできる♨！

主催　生活協同組合おかやまコープ　おかやまコープ　検索　http://okayama.coop/

後援　岡山県；岡山県教育委員会；岡山市；倉敷市；早島町；JA岡山中央会；山陽新聞社；朝日新聞岡山総局；岡山リビング新聞社；中国新聞備後本社；毎日新聞岡山支局；読売新聞大阪本社；RSK山陽放送；TSCテレビせとうち；RNC西日本放送；KSB瀬戸内海放送；OHK岡山放送；oniビジョン；FM岡山；レディオモモ；倉敷ケーブルテレビ；FMくらしき